

高知国際 高等学校

津波サミット報告会

1

目次

- 令和四年度__活動報告
- 令和五年度__活動報告
- 今後の予定

2

私たちの取組テーマ

避難所で高校生ができることを考える

3

私たちが目指すイメージ

- 高知国際高校が高知県一の安全な避難場所になっている
- 防災委員会（生徒会）の活動が活発化している
- 生徒会を中心に、学校全体で自主的に防災に取り組んでいる

4

令和四年度__活動報告

5

「こくさいぼうさいいらっさ〜い」

こうちこどもファンドの助成団体 Differentが防災イベントを2021年から毎年開催している。

活動の予算はこどもファンドから得ている。

地域× 防災をテーマに地域の方のコミュニティ作りや防災意識の向上を目的に行っている。



6

防災体験イベントの詳細

場所:高知国際高校

日時:令和4年12月17日(土)・18日(日) 14時~17時

主催:Different

(こうちこどもファンド助成事業)

共催:こうち減災女子部 イベント詳細



舞台は高校。
防災は体験。

7

防災ワークショップ内容



①起震車体験(12月17日だけのメインイベント)

②HUG(避難所運営)ゲーム(12月18日だけのメインイベント)

③Go! Go!備蓄品探検隊!

④〇×クイズ

⑤バザードマップ作り

⑥お菓子ポーチ作り

⑦ミニ講演会

⑧防災カルタ



8

校内防災グッズ探検ツアー

防災グッズが校内のどこに保管されているのか、実際に見て回るツアーを実施。災害時に「初めて見る」よりは、どこにあるかを見ておくことの大切さを実感。



9

令和五年度__活動報告

10

津波サミット学習会

第1回 6月18日(日) @高知丸の内高校

第2回 8月20日(日) @高知農業高校

- 今まで知らないことがたくさんあった。
- データとともに話を聞くことで恐怖感が大きくなったが、知ることで自分や家族、周りの人の命を守れると思った。

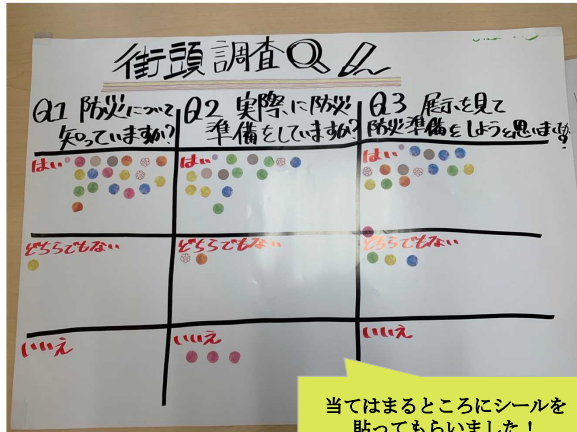
11

文化祭_防災学習活動展示



- 二日間にわたって行われた文化祭で、防災活動の展示ブースを作った
- 来場者に向けて、津波サミット講演会で用いられた資料の情報共有や防災ミニ知識の紹介などができた

12



文化祭で行った街頭調査

- 防災の事前知識は知っている
 - 防災準備をしていない人もいる
 - 展示を見て影響された方々が多い
- *この結果を分析して、次の防災ワークショップで効果的に活用する！

防災避難体験



- 防災LHの時間に行われた、救助シューターでの避難を体験
- 国際高校は4階建てであるが、救助シューターを使用すれば高層階からも避難することができる

(感想)

「高所から降りることに大変緊張したけれど、緊急時にいきなり体験するよりも、練習できて良かった。」

防災士資格取得



10月15日：資格試験受験

10月24日：防災士資格取得

防災士は民間資格ではあるが、**防災を学ぶ上で必要な知識を得ることができた**

▶ひとりひとりが防災に関する知識を蓄えることができた

*現在合計2名**合格**（今年度中にもう1名受験予定）

こくさいぼうさいいらっさ〜い2023



こうちこどもファンド助成団体 Différentが主催する10月29日開催の防災イベントにブースを出展

津波サミット講演会で学んだ「ロープワーク」を参加者の方に実演する

ロープワークの実演



17

ブースでの出展内容

- 教える側にまわることで新たな発見があり、新しい知識が得られた。
- 人に教えることで自分の学びも深められた。防災の解釈が広がった。



18

ここまでの活動を振り返って

防災士の資格、イベント等の準備

→自分たちの防災に関する専門的な知識を深めることができた

イベントの実施、文化祭での展示

→防災に興味がある人に対して、情報提供できた

防災に関心がない人にも働きかけることができれば、高知国際のすべての高校生が避難所の運営に自主的に携わることができるのではないか？

19

今後の活動計画

20

防災活動 啓発動画 製作



ここのシーンを撮ろう！

もっと分かりやすくしよう！

▶動画作成の目的

・災害に備えてできること、災害が起こった時にできること、をできるだけ多くの人に伝える。

→防災ワークショップに参加してくれる人は、もともと防災意識が高い。ポスターやパンフレットよりも、ショート動画なら、多くの人が気軽に見てくれるかも？

▶計画

・6月から週1回（総合的な探究の時間）、防災活動で自分たちができることは何か、アイデアを出して話し合った。

・ストーリーと自分たちが伝えたいアイデアをどう合わせればよいか、悩んだ。

22

復興庁現地視察ツアー参加

東日本大震災の風評払拭に向けたツアーに参加する。

目的：放射線に関する基礎知識や復興の現状、ALPS処理水等について、現地ツアーを通じて、同世代の福島復興等に関する理解を醸成する。

日時：令和5年11月11日（土）～12日（日）1泊2日

活動内容：日本国内の高校生60名が参加。ワークショップや復興シンボル地や復興地を訪問。

参加後：現地で得た情報や感想を、誰にでも手を取れるようにレポート化し、校外に発信する。

23

防災館（東京消防庁本所都民防災教育センター）訪問

- 修学旅行中に防災学習班で訪問予定
- 専門家にいろいろなことを聞いて学びたい



24

今後の活動の流れ

- 防災活動啓発動画を完成させ、発信

学校内で製作している防災活動啓発動画を完成させ、防災を身近に感じられるよう、校内外で発信。動画の中で、災害のダメージを最小限にとどめる備えや、災害後に関連する情報を紹介する。

- 復興庁現地視察や防災館（東京消防庁本所都民防災教育センター）のレポートを公開

誰でも手に取れるようにレポート化し、校内外に情報発信する。

25



Thank you for listening!

26